

# ちよつとしい話

## ～ 努力 ～

22年9月1日

「努力は天才に勝る」、まさに人生は努力の積み重ねでしょう。評価を受けるにはノーベル賞やオリンピック等々内外に色々の行事があります。しかしながら物事の充実感には、一人一人の温度差があって当然の事です。一般的に言えば別れの無い出会いが無いように持続しない努力も無いと思います。仏教的に精進と言えば「六道」の中、人間道に於いて完成された人間像を目指す事であり、成仏を目的とするも、努力と言えば社会生活の中で希望達成に向かって突き進む事ではなかろうか。しかしここで問題になるのが目的達成の為ならば手段を選らばず、他を排斥したり、非道徳的行動をしたり、人の感情を無視したり、人間としての営みを忘れての行動は褒められたものではありません。我々は他から戒めを求められるのでは無く、自からに戒めを課すべきであろう。精神に弱虫が巣食う事無く、肉体も病原菌と言う虫に虫食まれる事無く、その行いを信じ、その行いを高め、健全なる肉体と精神を兼ね備えて実りある努力をせねばと思います。行動に誤りがありますと信用を失墜し、一つの障害から努力の甲斐も無く夢散り徒労に終わる事にもなりかねません。

宗教者の立場から見ると、宗教者は営利を目的とせず、万民の精神的苦痛、肉体的苦痛を和らげる事（宗教儀礼を含む）に精進努力しなければいけないと思っています。努力するには環境の整備、基盤の強化が必要となります。仏閣の整備、僧侶の育成にはじまり、地域とのつながり、連携が大切に成ると思っています。各人が帰属する宗派に固執する事なく、大乘佛教の思想をすれば日本を一つと考え、必要な時に、悩みを解決してくれる余所に出向けば良いと思います。唯、現在でも道場や指導する僧侶についての情報が少ないのが難点です。格宗派はもっとオープンに大衆に向けて情報の発信をしなくてはならないと思っています。現世の御利益大いに結構です。しかし「欲界」に沈む者を出してはいけません。現在、現時点での悩める諸人に救済の手を差し伸べる事が出来なければ将来の極楽往生にもつながらないと思います。諸佛諸菩薩よ、大衆諸共に所願と希望の成就が実現しますようにお導き下さい。

善壽界 善入院油掛地藏尊